

指導普及のあらし

4年の歳月と48億円余の巨費をかけて、林産試験場が新しく生まれ変わりました。今、これだけの投資をどのように道民のくらしに還元していくのが問われています。建物は新しくなり、施設も拡充されました。これから、研究の質と量の高まりをだれしも期待するのは当然のことです。

また、どんなに素晴らしい研究成果が得られても、民間で十分活用されなければ、その研究は行われなかったのに等しいでしょう。それだけに、指導普及業務の一層の拡充強化が、試験場の内外から厳しく求められているのだと思います。

新しい試験場に引っ越して約半年、視察見学が相次いでおり、しばしば日程を変更していただくこともあるくらいの大にぎわいです。私どもは、林産試験場を「知る」ことが、「利用する」ことの始まりだと考えていますので、視察の対応には、全场挙げて取り組んでいます。今のこのにぎわいが、やがて明日の技術に対する関心の高まりや、試験場の研究成果の活用につながっていくものと期待しているのです。

林産試験場を御利用いただく際の参考までに、当面の重点的な指導普及業務の方針と内容を簡単に紹介しておきます。

困ったときはすぐ電話……

気軽に利用できる林産技術センターを目指します

「計画どおりの挽材能率が上がらない」「挽き曲がりが多い」「乾燥機を入れたいがどんなタイプが良いか迷っている」「外材を買ってプレーナをかけたらしり返ってしまった」「単板にしみがついて商品にならない」「木製のベンチを受注した。防腐処理の方法が知りたい」……。こんなことで悩んだことはありませんか？ 林産試験場では、木材工場で起こるさまざまな技術の悩みにお

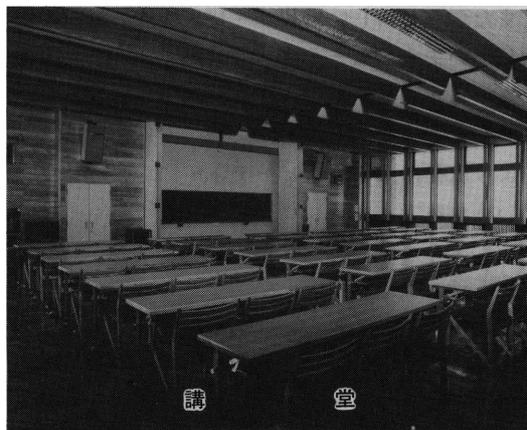
答えする「技術相談」にいつでも応じています。ともあれ、困ったときは、まず(0166)75-4233へダイヤルして下さい。

この外、「現地技術指導員の派遣」「現場技術者の養成」「分析・試験・鑑定を受託」「研修会・講習会の開催」など、企業の皆さんが気軽に御利用いただけるいろいろな事業を行っています。

技術の宅配便，林産技術交流プラザ……地域重視の普及事業を進めます

林産技術交流プラザは、試験場の研究員が皆さんの工場を巡回して、現地で技術相談に応じたり、工場の機械診断や技術指導などを行う事業です。また、地元林産業界や支庁の皆さんと林産試験場の交流会も開いています。これは、地域の御要望の強いテーマについて、試験場の研究員が話をしたり、皆さんの試験場に対する御意見や注文をお聴きしたりする会です。

プラザには“広場”という意味があります。林産技術交流プラザには、地域の業界と行政と試験



木の建物にじかに触れながら研修の場を提供

場が一つの広場に集まって、地域木材産業の活性化のために、何か一つでも一緒に考え、行動し、解決していくことができれば……という願いがこめられているのです。

林産技術交流プラザは年に3～5回実施しています。実施地域、時期、内容などについては、地元の御要望にそって決めますので、開催希望があれば、まず地元支庁林務課に御相談下さい。

図書室を解放しています……

情報センター機能の拡充強化を図ります

現在行っている主な情報サービスには、林産試だより（ウッディエイジ）、林産試験場報など出版物による研究成果や技術情報の提供と、図書室の一般解放、文献資料のコピーサービスがあります。

林産試験場の図書室には、木材関係の専門書を始め3万冊を超える書籍、資料のほか、内外の大学、試験研究機関の研究報告、国内雑誌83種、外国雑誌37種など、豊富な情報が蓄えられています。図書室は一般に解放していますので、企業をはじめ外部の皆さんも自由に閲覧することができます。必要な書籍、資料を探し出すのは、図書室の職員がお手伝いしますので、お気軽に御活用下さい。文献資料のコピーサービスは、電話でもお受けしています。申し込みは北海道林産技術普及協会（0166）75-4233（内線480番）へどうぞ。

また現在、新しい情報サービス機能の拡充を計画しています。たとえば、コンピュータの導入による情報処理業務のO A化や、外部の情報サービス機関と回線で結ぶことにより、内外の最新情報をより広範に、よりスピーディーにお届けしようというわけです。

公開講座の充実……

一般市民にも開かれた試験場を目指します

公開講座は一般市民の人達に、木に関する講義や体験を通じて、木の素晴らしさや木の上手な使い方を理解していただく事業です。林産試験場には、木の切削加工や接着、塗装など木の加工に関



小学生から木材・建築業者を対象とした種々の催し

する基本技術はもとより、永持ちする家を作るポイント、住宅や木製品のメンテナンス技術など、一般市民の方が日常生活の中ですぐ役に立てられる技術や知識が沢山集積されています。昨年、試みに家庭の主婦や子供達を対象に、林産試験場の見学会や木の良さに関する講座、木工教室などを開き好評をいただきました。これから、内容にもっともっと工夫をこらし、充実させていきたいと考えています。

場内見学は通年受け入れています。社会学級や市民団体の社会見学などに活用してははいかがでしょうか。そのさい、電話で予約をお忘れなく。また、技術相談もお受けしています。「土台が腐って床が落ちそうになっている。対策は?」「変ったキノコを見つけた。名前は?」など、木のことならなんでも結構です。

木の展示館「木路歩来」…… 87夏オープン

7月中旬には、国道にそった一角に、丸太小舎造りの木の展示館「木路歩来」がオープンします。テーマは“暮らしと木材”。木は森林からの贈りもの、木の良さ再発見、永持ちする家を作るには、バイオランド北海道など9つのコーナーを設け、市民の皆さんに、楽しみながら木材への理解を深めていただけるよう、いろいろ工夫している最中です。周辺には、木製遊具や緑を配置し、遊んだり、くつろいだりできるようにしたいと考えています。
(林産試験場 高橋弘行)